取扱説明書 保管用

yamada

屋外用・バリードライト（地中埋込灯）

（防雨型・密閉型・荷重型・LEDタイプ）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取付説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取付説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取付説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　番	適合ランプ	適合電圧	消費電力
AD-2549-L	スタンレー製 L00LD730AD×1灯（電球色相当）	AC100V（±6%）	7W

●荷重型について：人が乗っても耐える構造になっています。

この取付説明書のマークについて

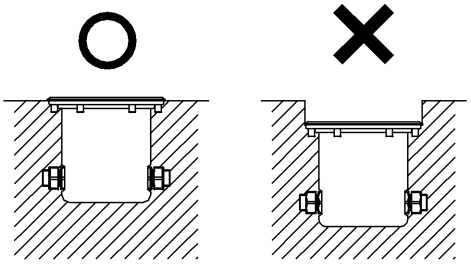
⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠警　告

❗ ＬＥＤ光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意下さい。

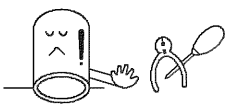
⃠ 次のような場所には取り付けないでください。
●水中や水没する恐れのある場所。
★防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。
●車が通る場所には使用出来ません。
●強酸、強アルカリの地質および雰囲気では使用しないでください。
●塩害地および、温泉地での使用は腐食する恐れがあるため、お避けください。
★器具の破損によるケガや、漏電、感電事故の原因となります。
●浴室など湿気の多い場所　●サウナへの使用
★器具破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。



❗ ●電源線は**2種EP絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブル（2PNCT）3芯Φ10.5～13.0**専用です。
●他のケーブルは使用出来ません。（VCT等不可）●締付ナットを外しコーキング等の処理はできません。
★指定外ケーブルの使用・施工は器具の防水性を損ない（器具内への浸水）、感電や漏電事故の原因となります。
●接地（アース）工事は必ず行ってください。
●電線管と器具との接続は呼び22用（厚鋼電線管ネジ）のアダプターを使用します。
（呼び22以外のアダプターは使用できません。）

⃠ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ ドライバーなどの異物は差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。



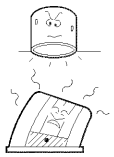
⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注　意

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火、ユニットの寿命短縮の原因となります。

❗ AC100V専用です。必ずAC100V（定格電圧±6%）の電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
★定格電圧（１００V）以外で使用した場合、器具寿命が短くなることがあります。

⃠ 必ず指定されたランプを使用してください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。



⃠ ヒビの入ったカバーや一部欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損は、器具の防水性を損ない（器具内への浸水）、感電や漏電事故の原因となります。

❗ 接地（アース）工事は法規で定められていますので、必ず行ってください。

使用上の注意

⚠注 意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10 年後には外観に異常がなくても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度 30℃、年間 3000 時間点灯です。（JIS C8105-1 解説による）

LED 光源にはバラつきがある為、同一商品名でも色・明るさが異なる場合がございます。予めご了承ください。

照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。

他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承ください。

調光器適合表

調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用ください。
★不適合な調光器は故障また火災の原因となります。

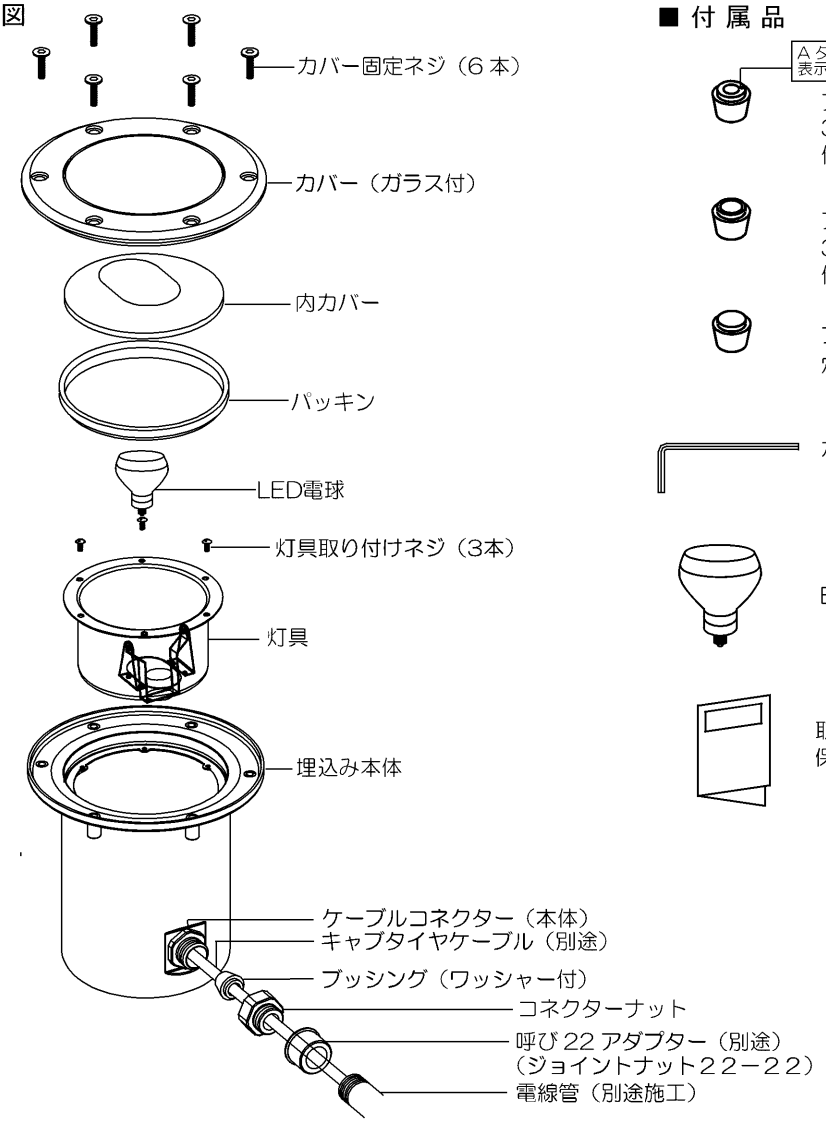
調光器	調光器品番	1回路当たりの接続数	インターフェース　※1
グラフィックアイQS（LUTRON社）	QSG-*P-100-	1～4台　（1ゾーンに対して）	LUT-LBX
		5～13台　（1ゾーンに対して）	不要
		14～30台（1ゾーンに対して）	NGRX-PB
グラフィックアイ3000（LUTRON社）	GRX-310*-T-JA-	1～4台　（1ゾーンに対して）	LUT-LBX
		5～13台　（1ゾーンに対して）	不要
		14～30台（1ゾーンに対して）	NGRX-PB
調光盤（LUTRON社）	JDP-**・GP-4	1～30台　（1回路に対して）	LUT-LBX
ビルトインタイプ（Nasnos社）	LC6200D-02	1～10台　（1回路に対して）	不要

※1　インターフェースが必要な場合は1回路に1台を必ず1つ接続してください。
　LUT-LBX:低負荷容量インターフェイス　　NGRX-PB：パワーブースター
★調光器との接続方法につきましては別途ご相談下さい。
★電源を入れても点灯していないように感じられる場合は、電源投入後、一度調光レベルを上げて動作の確認をしてください。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

■器具構成図



■ 付 属 品

ブッシング A（ワッシャー付）　・・・ 2 個
3 芯2PNCT
仕上げ寸法 10.5mm～ 11mm用

ブッシング B（ワッシャー付 ）　・・・ 2 個
3 芯2PNCT
仕上げ寸法 13mm用

ブッシング（ワッシャー付 ）　・・・・ 1 個
穴無しタイプ

六角レンチ・・・・・・・・・・・・・1 本

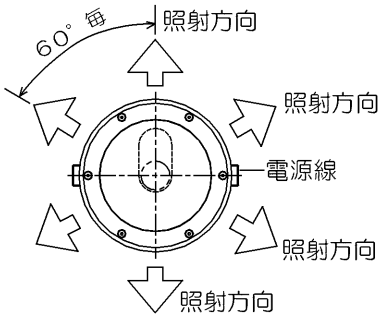
E11 LED電球(MR16形) ・・・・・・1個

取扱説明書（本紙）・・・・・・・・・・1枚
保証とアフターサービス（別紙）・・・・1枚

取り付ける前に

●照射方向に制限があります。本体の設置方向に注意してください。

照射可能方向・・・６方向（６０° 毎）



取り付け方　⚠ 注意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警　告❗ 器具の取り付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

1. 埋込み本体の取付方法

1. カバーとパッキン、灯具を埋込み本体からはずします。（付属の六角レンチ使用）
2. コネクターナットを緩め、セットされているブッシングをはずします。
3. 埋込み本体を設置場所に入れます。
4. 電線管からのケーブルに予めジョイントナット（呼び２２別途）を通します。
5. ケーブルをコネクタナットに通します。
6. ケーブル外形に合ったブッシングを、ケーブルに通します

❗ 電源線は、３芯キャブタイヤケーブルΦ10.5～ 13.0（2PNCT）を必ず使用してください。
他の電源線は使用できません
★防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。

ブッシングＡ：３芯２ＰＮＣＴ（1.25～ 2mm²）仕上げ外形 10.5mm～ 11.5mm 用 ブッシングＢ：３芯２ＰＮＣＴ（3.5mm²）　　仕上げ外形 13mm 用

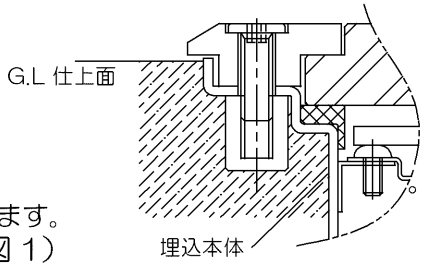
※ブッシング A2 個は、ケーブルコネクターにセット済みです。

7. ケーブルを、ケーブルコネクターに通し器具内に引き入れます。
8. ケーブルに通したブッシングをケーブルコネクターにセットします。
★埋設後の処理はできません。確実に施工してください。浸水の原因となります。
9. コネクターナットにジョイントナット、他をセットし電線管を接続します。

❗ 送り配線をしない場合は、片側のケーブルコネクターに穴無し
ブッシングを必ずセットしてください。
★防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。

10. 器具開口部に養生を施し埋め込み本体を G.L 仕上げ面に合せ設置場所に固定します。

❗ G.L 面仕上げ面より埋込本体が下がらないようにご注意ください。（図 1）
★浸水し、絶縁不良の原因となります。



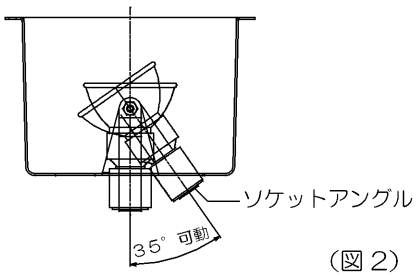
（図 1）

2. 灯具のセット

1.灯具口出し線と電源線・電源送り線を結線します。
2. アース線を接続します。

❗ 必ずD 種（ 第三種 ）接地工事を施してください。
★不良の場合、感電、漏電の原因になります。

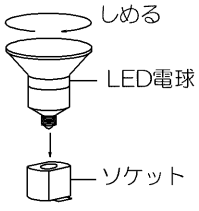
3. 灯具を埋め込み本体に合わせ入れ、灯具取り付けネジ（3本）で固定します。
詳しくは、「取り付ける前に」を参照してください。
4. ソケットアングルの向きを照射する方向に合わせます。（図２）



（図 2）

3. ランプのセット（図３）

ランプをソケットに差し込み、右に回します。
無理な力を加えないでください。
★ランプが破損する恐れがあります。



（図 3）

4. カバーと内カバー、パッキンのセット

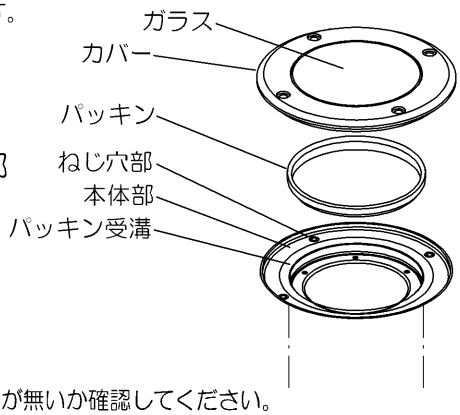
1. 埋込み本体内が濡れているような場合には、完全に乾燥させてください。
2. 埋めこみ本体と、カバーが接する部分（パッキン・ガラス面）、ネジ穴部の
ゴミ、砂利などの異物を完全に除去します。

❗ ★埋込み本体とカバー（ガラス付）の間に異物が挟まると密着が悪くなり防水性が
損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。

3. パッキンを埋込み本体に合わせ入れます。
4. 内カバーを灯具内に合わせ入れます。
5. カバー（ガラス付）を埋込み本体に合わせます。
6. カバー固定ネジ（６本）を付属の六角レンチにて対角線上に順次均等に締め込み、カバーを固定します。
（全てのカバー固定ネジにゆるみがないように再確認してください。）

お手入れについて　⚠注 意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：ガラスの表面は製品の配光効率の維持と危険防止のために常に清掃をお願いします。
●メンテナンス時には以下の点に注意してください。
　◆雨天時及び器具表面が濡れている時のメンテナンスは、避けてください。
　　カバーを外す時、雨水等が器具本体内に浸水する恐れがあります。
　　★水の浸入による火災・感電の原因となります。
　◆異物混入を防ぐため、カバー・パッキン・ガラス・本体部（特にネジ穴部およびパッキン受溝）のゴミ、砂等を完全に除去してください。
　　★浸入による火災・感電の原因となります。
　◆パッキンが損傷した場合は交換してください。
　　（使用期間3年を目安に交換することをお勧めします。）
　◆カバー取り付け時、ネジは対角線上に順次均等な締めつけをしてください。
　　（すべてのカバー固面にゆるみがないように再確認してください。）



●定期点検について：防水性を保つ為て定期的（3ヶ月～半年に一度程度）にカバー固定ネジのゆるみが無いか確認してください。
　（カバー固定ネジのゆるみがありましたら、付属の六角レンチでネジを均等に増し締めしてください。）

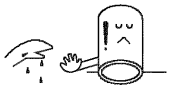
⚠注 意

❗ ●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
　★感電事故の原因となります。

🚫 ●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
　★火傷の原因となります。

🚫 ●直接素手で触らないでください。きれいな手袋などを使用してください。汚れた場合は、アルコールなどを浸したきれいな布で拭きとってください。
　★ガラスが劣化して破損や短寿命の原因となることがあります。

🚫 ●濡れた手で触らないでください。
　★感電事故の原因となります。



🚫 ●ランプは乱暴に扱わないでください。
　★ランプが破損してケガをする恐れがあります。

🚫 ●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
　★不適合なランプを使用すると異常過熱による火災の原因となります。

🚫 ●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
　★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

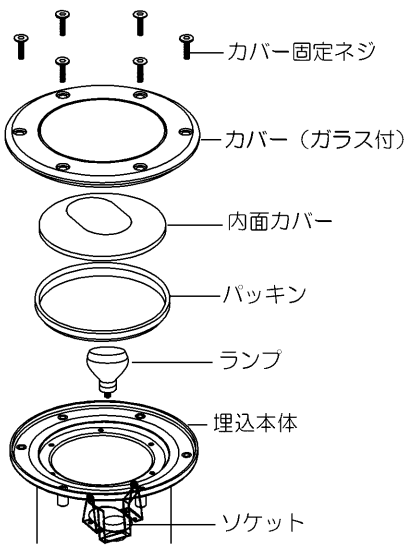
■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。

ランプの交換

■ランプ使用上のご注意

LED照明器具の光源寿命（※）は、30,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。



1．スイッチを切ります。
　⚠注意　●ランプ交換時、濡れた手でさわらないでください。
　　★感電事故の事故の原因となります。
2．カバー（ガラス付き）をはずします。
　●カバー固定ネジ（6本）ゆるめてください。
3．内面カバーをはずします。
4．ランプを交換します。
　⚠注意　●ランプは乱暴に取り扱わないでください。
　　★ランプ破損などの事故の原因となります。
　　●ランプは高温になりますので、点灯中・消灯直後は触れないでください。
　　★火傷の原因となります。
　　●適合ランプ以外は、取り付けできません。
　　必ず器具に表示されているランプを使用してください。
　　★異常過熱などによる事故、故障の原因となります。
5．パッキン、ガラス面のごみ、砂等を完全に除去してください。
　★埋込本体とカバー（ガラス付）、パッキンの間に異物が挟まると、密着性が悪くなり防水性が損なわれ、浸水や絶縁不良の原因となります。
6．カバーを取り付けます。
　★ネジは対角線ずつ均等に締め付けてください。